# 八重山・離島の子ども派遣基金事業

### 事後評価報告書

令和5年3月31日 株式会社ハブクリエイト

### 1. 基本情報

(1) 実行団体名 株式会社ハブクリエイト

(2)実行団体事業名 八重山・離島の子ども派遣基金事業 (3)資金分配団体名 公益財団法人みらいファンド沖縄 (4)資金分配団体事業名 沖縄・離島の子ども派遣基金事業

(5)事業の種類 草の根活動支援事業

(6) 実施期間 2020 年 5 月~2022 年 3 月

(7)事業対象地域 八重山地域

### 2. 事業概要

離島県沖縄において、住む場所により子どもたちの移動の自由が制限されているということが、子どもから「体験すること」という人生の選択肢を奪っており、子どもの人権が守られていない不平等な状態だと地域全体が認識することを目的に実施する。また、同時に、子どもは PTA や一部の関係者だけでなく地域全体の資源であり、全体で育てるものである相互扶助の価値観の再構築も目指したい。多くの「体験」の機会の中でも、部活動の派遣旅費の負担の課題は、離島県の不利性を本人や家族が自己責任で担保しているため、子どもの学びの機会に不平等が生じていることを社会課題と捉え、県民全体でここを支える仕組み(基金)を作ることを目標とする事業である。

### 3. 事後評価実施概要

### (1) 実施概要

八重山地域は離島のさらに離島であり、県大会に参加するためにも空路での移動が必要で派遣費用の負担が大きな課題となっている。

当事業により負担を軽減するとともに実態を把握し、県や自治体、地域で支える仕組みを構築することを主な目的としている。

- ① どんな変化をこの事業の重要なポイントとして設定し評価を実施したのか 子供の経験機会の確保の観点から、派遣費用補助により、家計の負担が軽減されたか、補助 前より、安心して参加できる子どもが増えたかを重点的に設定し評価を行った。
- ② どんな調査で測定したのか※調査概要の記載の仕方は末ページ記載例参照
- •対象者

派遣補助対象団体(子供、保護者、指導者等)

•調査方法、期間

調査方法:大会派遣前後にインターネットアンケートによる調査を行った。

調査期間:2020年5月~2022年3月

•回答数

### 【派遣前調査】

アンケート回答数 738件(補助対象者848名、回答率87.0%)

### 【派遣後調査】

アンケート回答数 626件(補助対象者848名、回答率73.8%)

### ・短期アウトカム【共通】

八重山の離島における部活動等に対して、当事者の直接的な負担軽減があり、派遣費が原 因で部活動に参加しない子どもが減り、部活動に安心して参加できる子どもの数を増やす

### ・アンケート内容と結果

### 【派遣費用負担感について】

派遣前後とも「大きい」「とても大きい」を合わせ 88.2%と派遣費用に関する負担感が大きい状況にある。

### 【派遣費用補助がある場合の家計への効果について】

派遣補助がある場合の家計負担への効果について、「大きい」「とても大きい」が 90.3%となっており、補助の必要性が確認できた。

### 【負担が軽減された場合、活動に与える影響について】

補助等により家計費用負担が軽減された場合の活動に与える影響について、「大きい」「とても大きい」が派遣前88.8%、派遣後93.1%となり、補助の効果が確認できた。

### 【負担が原因で入部や遠征をあきらめる例がある】

入部や遠征をあきらめる例について、「多い」「とても多い」が 61.8%あり、子供の機会公平性

に金銭的理由が生じている状況がある。

【(子供への質問)クラブ活動に参加するとき、心配ごとがありますか】「とてもある」「ある」が 38.7%であった。

【(子供への質問)入部や派遣のとき、費用の負担について気にすることがありますか】 「ある」「とてもある」が派遣前で70.4%、派遣後71.1%となった。 費用負担について子供への影響がでていることが浮き彫りとなった。

【(子供への質問)島外での経験を増やしたいですか】 93.7%が「増やしたい」と回答した。 子供達が島外での経験を増やしたいとの結果となった。

【(子供への質問)島外の人と比べて、大会などの経験が不足していると思いますか】 86.7%程度が「不足している」と回答した。

離島の子供達が島外の子供に比べて経験の面で不利性を認識している結果となった。

【派遣費の補助があったことで家計の負担はどうなりましたか】 85.7%が「減った」、10.7%「変わらない」と回答した。 ほとんどの対象者が家計の負担が減ったと回答し、補助の効果が確認できた。

【補助前より、遠征に参加しない子どもが減ったり、安心して参加できる子どもが増えた】 65.3%が「減った」、30.4%「変わらない」と回答した。

今回の補助は自己負担の半額を基本としており、安心して大会に参加できる環境提供として は、不足している部分も見受けられた。

③調査結果をどのように深掘りし価値判断をしたのか

派遣費用の負担が大きく、離島の子供達の機会公平性に影響が生じている状況にあることが浮き彫りとなった。

派遣費用補助を行うことにより、家計負担を軽減させ、より質の高い活動や経験を積むことへの一助となることが確認できた。

子供や親が諦めない環境を作るためにも、公的補助の充実を図るとともに、地域で支えていく 仕組み作りが必要である。

### (2) 実施体制

分配団体 公益財団法人みらいファンド沖縄

担当者: 嘉数菜利子(プロジェクトオフィサー)

実行団体 株式会社ハブクリエイト

担当者:喜納正雄(代表取締役)

### 4. 事業の実績

この項目では、インプット、アウトプット、短期アウトカムの実績を記載してください。それぞれ初期値・目標値・実績値が比較できるように記載してください。

4-1 インプット(主要なものを記載)※最新事業計画書のインプット欄から転記してください。

- (1) 人材 内部:合計1人(担当者1人、管理者1人)外部:合計0人
- (2) 資機材 なし
- (3) 経費実績 助成金の合計(円)

① 契約当初の計画金額 事業費 ¥21,400,000

直接事業費 ¥17,110,000

管理的経費 ¥3,390,000

評価関連経費 ¥900,000

② 実際に投入した金額 事業費 ¥22,438,277

直接事業費 ¥18,808,277 管理的経費 ¥2,910,000

評価関連経費 ¥720,000

### (4) 自己資金(円)

①契約当初の自己資金の計画金額 ¥ 2,990,000②実際に投入した自己資金の金額と種類 ¥ 1,541,850

③ 資金調達で工夫した点

みらいファンド大会基金を通じて2件1,541,850円を自己資金として投入した。 基金の応募にあたっては、4回説明会を開くなど周知に努めた。

### 4-2 活動とアウトプットの実績

(1)主な活動

八重山地域の小中高校生の派遣費用を補助する。 アンケート調査等により、実態の見える化を行う。 派遣費用の課題を地域で共有する。

(2) アウトプットの実績

# 【アウトプットに関する記載事項】

①アウトプッ	2指標	③初期値	④目標値	<ul><li>4) 目</li></ul>	⑥実績値
1				標	
				達	
				成	
				時	
				期	
【共通】八	休眠事業での	1、現代版組	年間の目標とし	2022 年度中	派遣費用補助につ
重山の現代	支援 4 件/149	踊 1件	ては以下の通り		いて、人数と対象、
版組踊、小	人	/30 人	とし、この目標		件数の目標を達成
中マーチン		2、小中マー	を3カ年達成す		できた。
グバンド、		チングバンド	る。		
学童野球、		2 件/85 人	1、現代版組踊		2020 年度
ロボコンを		3、学童野球	1 件/30 人		1、現代版組踊 1 件
対象に派遣		1 件/20 人	2、小中マーチ		/22 人
費補助を行		4、ロボコン	ングバンド		2、小中マーチング
う		1 件/14 人	2件/85人		バンド 未実施
			3、学童野球 1		3、野球 4件/85人
			件/20 人		4、ロボコン 未実施
			4、ロボコン 1		※未実施は新型コロ
			件/14 人		ナ影響による。
					2021 年度
					1、現代版組踊 未
					実施
					2、小中マーチング
					バンド 未実施
					3、野球 1件/24人
					4、ロボコン 未実施
					・その他実施
					テニス 1件/10人
					バスケ 1件/15人
					郷土芸能 1 件/46
					人
					その他については、
					新型コロナ影響によ

					る大会中止等の分で
					補助した。
					2022 年度
					1、現代版組踊 未
					実施
					2、小中マーチング
					バンド 4件/112人
					3、野球 7件/141人
					4、ロボコン 1 件/11
					人
					・その他実施
					テニス 1件/9人
					バスケ 3件/32人
					郷土芸能 2 件/70
					人
					バレー 7件/63人
					サッカー 3件/43人
					その他 1件/10人
					(中国語大会)
同上	派遣した子ど	指標で示した	派遣費の補助が	2022 年度中	派遣費の補助があ
	も、保護者向	調査により、	あったことで家		ったことで家計の
	けのアンケー	派遣費補助前	計の負担は減っ		負担は減ったと答
	トする。案と	の状態を確認	たと答える割合		える割合が 85.7%
	しては以下の	し、初期状態	がほぼ 100%		で概ね目標を達成
	ようなアンケ	として設定す			できた。
	一ト項目を想	る			
	定。「派遣費				事後アンケートで
	の補助があっ				626 件の回答を得
	たことで家計				た。
	の負担は減り				結果、85.7%の対
	ましたか」				象者が家計の負担
					が減ったと回答
					し、補助の効果が
					確認できた。
【共通】子	年一回、円卓	0件/ステーク	15 人	2022 年度中	円卓会議を 3 回開

どもの移動	会議を実施。	ホルダーが可		催。各会議5名以上
に関する課	適切なステー	視化されてい	5 人着席者/1 回/	の着席者があり、目
題が各ステ	クホルダーを	ない状態	年×3年	標を達成できた。
ークホルダ	招集できてい		適切なステーク	
ーに共有さ	る。		ホルダーの参画	派遣費用問題につ
れている状			を促す	いて地域へステー
態				クホルダーへ情報
				発信し社会的課題
				ということを共有
				できた。
				第一回
				■開催日時:2021
				年 12 月 14 日
				(火) 18:30-21:10
				■開催場所:大濱
				信泉記念館研修室
				■着席者数:7名
				■参加者数:7名
				第二回
				■開催日時:2021
				年 12 月 15 日
				(水) 18:30-21:10
				■開催場所:大濱
				信泉記念館研修室
				■着席者数:6名
				■参加者数:2名
				第三回
				■開催日時:9月
				26 日(月)18:30-
				21:10
				■開催場所:大濱
				信泉記念館 多目的
				ホール
				■着席者:7名
				■参加者:14名

同上	基金につい	配布数 200 人	年間の目標とし	2022 年度中	200 部程配布し、
	て、派遣され		ては以下の通り		目標達成した。
	る部活、クラ	<配布先予定	とし、この目標		
	ブ活動の指導	>	を3カ年達成す		説明会等のほか、
	者に知っても	・石垣市、石	る。配布数 200		大濱信泉記念館に
	らう。行政や	垣市商工会、	人		て配布した。
	商工会議所に	石垣観光交流			
	説明する、派	協会			
	遣の可能性が				
	高い父母に配				
	布し、基金に				
	ついて知って				
	もらう				

### 4-3外部との連携の実績

円卓会議を3回実施し計43名の参加があったたほか、や石垣市教育委員会との意見交換等も行った。

また、2022 年度に離島派遣費用課題に対して新たな資金造成手段を提供することを目的として、 島の子ども応援まつり実行委員会を立ち上げた。2023 年度 6 月のイベント開催を予定している。 さらに、同実行委員会と連携し、石垣市長へ派遣費用補助の拡充を要請した。

### 5. アウトカムの分析

短期アウトカムの達成度とその要因や課題、そこから見えてきた様々な波及効果について記載してください。

## 5-1. アウトカムの達成度

(1)短期アウトカムの計画と実績

【短期アウトカムに関する記載項目】※下記①~⑤は最新事業計画書から転記してください。

①短期アウトカ	②指標	③初期値	④目標値	⑤ 目	⑥アウトカム発
Д				標	現状況(実績)
				達	
				成	
				時	
				期	
八重山の離島に	県外・島外への派	1、現代版組	最終年度(2022	2022 年度中	ほとんどの補助
おける部活動等に	遣費用の中、当事	踊	年度)の派遣大		対象者の家計負

対して、当事者の 直接的な負担軽 被があり、派遣費 が原因で部活動 に参加しない子と もが減り、部活動 に安心して参加で きる子どもの数を 増やす  同上  「派遣補助事業により、負担が経滅されたかをアンケート によりはかる。  同上  「派遣補助事業により、負担が経滅されたかをアンケート によりはかる。  「原因で人部や の、設定をおかった。  「原因で人部や をない、とても多い。			T			
減があり、派遣費 が原因で部活動 に参加しない子どもが減り、部活動 に変加しない子どもが減り、部活動 に安心して参加できる子どもの数を 増やす	対して、当事者の	業によって、実際	2、小中マー	会における派		担率が 50%以下
ボルス・インテー によりはかる。   本をパーセンテー がではかる。   ではかる。   ※初期値に 関しては、   2020 年度に おける上記 の派遣大会 への派遣 費用における 家計負担率を 起に、初期値を設定 する。   一方	直接的な負担軽	に掛かった費用と	チングバンド	遣費用の家計		となり、目標が
に参加しない子どもが減り、部活動に安心して参加できる子どもの数を増やす 2020 年度における上記の派遣大会への派遣費用における家計負担率を基に、初期値を設定すると り、負担が軽減されたかをアンケートによりはかる。 要用負担感がとりが、自力をアンケートによりはかる。 要用負担感がときなかった。 要用負担感がたい、とても大きい、とても大きい、とても大きいという回答が約85% 無助しても負担が残ることが影響していると思われる。 原上 派遣補助事業により、負担が減って安心して派遣事業 既存アンケートにより、「負担が減って安心して派遣事業 原因で入部や 原因で入部や ある例がある」、	減があり、派遣費	自己負担分の比	3、学童野球	負担率が 50%		達成できた。
もが減り、部活動に安心して参加できる子どもの数を増やす	が原因で部活動	率をパーセンテー	4、ロボコン	減		
で安心して参加できる子どもの数を増やす	に参加しない子ど	ジではかる。				派遣事業補助に
さる子どもの数を 増やす	もが減り、部活動		※初期値に			より、補助対象
増やす	に安心して参加で		関しては、			者において、家
の派遣大会 への派遣費 用における 家計負担率 を基に、初 期値を設定 する。  同上  「派遣補助事業により、負担が軽減されたかをアンケートによりはかる。  「大きい」にとでも大きいという 同答が約 85%  「同上  「派遣補助事業により、「クラブートをいとした。」 「成遣補助事業により、負担が減って安心して派遣事業 「既存アンケートにより、「負担が原因で入部や」を2022年度中 「負担が原因で入部や」になり、「負担が原因で入部や」になり、「負担が原因で入部や違征を諦める例がある」、	きる子どもの数を		2020 年度に			計負担は平均
への派遣費   用における   家計負担率 を基に、初期値を設定 する。   一日上   派遣補助事業により、負担が軽減されたかをアンケートによりはかる。   一日上   派遣補助事業により、としても大きいいう回答が約85%   一日上   派遣補助事業により、負担が減って安心して派遣事業   既存アンケートにより、「負担が原因で入部や   大きい原因で入部や   大きの高の派遣を   大きの高ので、	増やす		おける上記			25517 円から
用における 家計負担率 を基に、初 期値を設定 する。   同上			の派遣大会			16206 円に減っ
家計負担率を基に、初期値を設定する。			への派遣費			た。
を基に、初期値を設定する。			用における			
期値を設定 する。			家計負担率			
する。			を基に、初			
同上   派遣補助事業により、負担が軽減さ者アンケートによりはかる。			期値を設定			
り、負担が軽減さ			する。			
れたかをアンケー トによりはかる。 おり、「クラブ き	同上	派遣補助事業によ	既存の保護	初期値より 30%	2022 年度中	派遣前後とも派
トによりはかる。   活動の派遣 費用負担感 について」大きい、とても 大きいという 回答 が 約 85%   編助しても負担 が残ることが影響 していると思われる。   同上   派遣補助事業により、負担が減って安心して派遣事業   既存アンケートにより、「負担が 原因で入部や のる例がある」、		り、負担が軽減さ	者アンケート	程度改善するこ		遣費用負担感が
費用負担感について」大きい、とても大きいという回答が約85%       約88.2%と負担家は変わらず大きく、目標達成できなかった。         一個答が約85%       補助しても負担が残ることが影響していると思われる。         同上       派遣補助事業により、負担が減って安心して派遣事業原因で入部や協位を諦める例がある」、		れたかをアンケー	より、「クラブ	ک		「大きい」「とても
について」大きい、とても大きいという回答が約85% について」大きいという同答が約85% 補助しても負担が残ることが影響していると思われる。 原存アンケートにより、「負担が減って安心して派遣事業 原因で入部や のる例がある」、		トによりはかる。	活動の派遣			大きい」を合わせ
きい、とても 大きいという 回答が約 85% 補助しても負担 が残ることが影響 していると思われ る。 同上 既存アンケート 2022 年度中 「負担が原因で り、負担が減って 安心して派遣事業 原因で入部や める例がある」、			費用負担感			約 88.2%と負担
大きいという 回答が約 85%       意なかった。         相助しても負担 が残ることが影響 していると思われ る。         同上       既存アンケート り、負担が減って 安心して派遣事業       既存アンケート により、「負担が 原因で入部や       2022 年度中 入部や遠征を諦 める例がある」、			について」大			家は変わらず大
回答が約 85%補助しても負担 が残ることが影響 していると思われる。同上派遣補助事業により、「負担が減ってり、負担が減って安心して派遣事業既存アンケートにより、「負担が により、「負担が 原因で入部や2022 年度中 人部や遠征を諦める例がある」、			きい、とても			きく、目標達成で
85%       補助しても負担が残ることが影響していると思われる。         同上       派遣補助事業により、「負担が原因で入部や遠征を諦める例がある」、			大きいという			きなかった。
同上       派遣補助事業により、負担が減って安心して派遣事業       既存アンケートにより、「負担が反して派遣事業       で入部や遠征を諦める例がある」、			回答が約			
同上       派遣補助事業により、負担が減って方力       既存アンケートにより、「負担が原因で入部や遠征を諦める例がある」、			85%			補助しても負担
同上   派遣補助事業によ   既存アンケート   2022 年度中   「負担が原因で   り、負担が減って   により、「負担が   入部や遠征を諦   次心して派遣事業   原因で入部や   める例がある」、						が残ることが影響
同上   派遣補助事業によ   既存アンケート   2022 年度中   「負担が原因で   しより、「負担が   入部や遠征を諦   皮心して派遣事業   原因で入部や   める例がある」、						していると思われ
り、負担が減って により、「負担が 入部や遠征を諦 安心して派遣事業 原因で入部や める例がある」、						る。
安心して派遣事業 原因で入部や める例がある」、	同上	派遣補助事業によ		既存アンケート	2022 年度中	「負担が原因で
		り、負担が減って		により、「負担が		入部や遠征を諦
に参加できるこども 遠征を諦める例 多い、とても多い		安心して派遣事業		原因で入部や		める例がある」、
		に参加できるこども		遠征を諦める例		多い、とても多い
たちが増えたかをがある」、多い、という回答が約		たちが増えたかを		がある」、多い、		という回答が約
はかる とても多いという 62%で5ポイント		はかる		とても多いという		62%で 5 ポイント
回答が約 67% の改善に留まり、				回答が約 67%		の改善に留まり、

					日博な法式でき
					目標を達成でき
					なかった。
					補助しても負担
					が残ることが影響
					していると思われ
					る。
2023 年度以降の	子どもの移動負担	実行団体の	実行団体を通じ	2022 年度中	円卓会議で派遣
自走状態を達成	軽減のために、基	初期状態と	て、子どもの移		費用問題を地域
するための広報力	金を活用して地域	して、既存に	動に関して行政		で共有できたほ
がつき、こどもの	の支援者(県内)と	ある支援メニ	や企業等と課		か、当事業をきっ
移動に関する課	マッチングをしてい	ュー(行政補	題共有し、地域		かけに子どもの
題が各ステークホ	る	助、競技団	で派遣費用を		資金造成を目的
ルダーに認識され		体補助)を支	支える仕組みの		とした組織が立ち
ている状態		援者につな	トライアルがで		上がり、市長へ派
		げている状	きている状態		遣費用補助の拡
		態			充を要請するな
			基金の利用目		ど、目標を達成
		基金の利用	標件数2件		できた。
		件数は0件			
					新たなイベントを
					開催し、地域で
					派遣費用を支え
					る仕組みの道筋
					をつけることがで
					きた。

# ⑦事前評価時の短期アウトカム(変更した場合は元の短期アウトカムを記載してください (202000331 提出時点)

短期アウトカム	指標	初期値	目標値
八重山の離島における部	全ステークホルダー参加のもと	全ステークホル	初期値として設定され
活動等の派遣における子	行われる円卓会議において、事	ダー参加のもと	た割合を上げていく
どもたちの移動に関する	前アンケートを実施。円卓会議	行われる円卓会	
現状を(円卓会議等のツー	や本事業の様々な取り組みにお	議において、事前	
ルを活用して) あぶり出	いて本課題の切実性や課題解決	アンケートを実	
し、企業セクターや行政セ	の必要性などを抽出し、共有。	施し、初期状態を	
クター等の各ステークホ	定期的なアンケート調査によ	設定	
ルダーがこの課題の本質	り、全ステークホルダーの本課		
を自覚ししている状態。	題への意識変化や行動変化をは		
	かる。		
同上	実際派遣された子ども、その保	大規模離島での	事業で支援した支援者
	護者、先生らへのアンケートと	事前調査を行い、	の 50%以上のレポート
	レポートによりはかる。	初期値を設定し	アンケート回収を目標
		たい。	とし、評価事業者と綿
			密な相談の上策定した
			V
島外遠征の機会を充実さ	この事業により、従来行けなか		初期値から増加
せる。	った人がどれだけ島外遠征に行		
	けたかを案件によりはかる。		
	基金へのファンドレイズの額、	0円	初期値から増加
	ファンドレイズに関わる人数に	(現在ファンド	
	よってはかる	レイズは行われ	
		ていない)	

### (2)アウトカム達成度についての評価

2020 年度から 2022 年にかけて、基本的には自己負担額の半額の補助を行い、対象者の家計負担を軽減することができた。

同時に子どもの体験機会の補償についても一助となった。

また、アンケート結果により、派遣費用を見える化し、白書などを通じて発信することが出来た。 円卓会議は3回で43名が参加。父母会等当事者のほか、市議会議員や教育委員会、航空会社 職員なども参加頂き、活発な意見が交換された。

### 5-2. 波及効果(想定外、波及的・副次的効果)

当事業で課題提起した地域で支える仕組みづくりの一環として、島の子ども応援まつり実行委員会が立ち上がり、石垣市へ派遣費用補助拡大の要請を行ったほか、2023年度6月に派遣費用造成を目的としたまつりの開催も決まった。

### 5-3. 事業の効率性

補助対象については、HPで情報発信したほか、地元新聞報道なども参考にした。

各競技団体の認知も進み、事業当初に比べやり取りがスムーズになったほか、業務にあたっては クラウドを活用するなど効率化が図られた。

### 6. 成功要因·課題

・社会課題解決に貢献したアウトカム

派遣費用補助により費用負担が緩和された。

また、アンケート調査やニーズのヒヤリング結果を踏まえ、地域で支え合う仕組みづくりがスタートするきっかけを作ることが出来た。

同時に、円卓会議等を通じて当課題に対する問題意識の形成を図ることが出来た。

### 達成が困難であったアウトカム

今回の補助は期間限定のため、派遣費負担の根本的な解決には至っていない。

一般の移動に関しても同様の課題があるため、沖縄県における離島の不利性解消について検討する必要がある。

また、地域に広く課題を共有する面では、円卓会議の集客に苦労するなど、足りない面もあった。 引き続き課題解決へ向けて取り組む必要がある。

### 6. その他深掘り検証項目(任意

### 8. 結論

8-1事業実施のプロセスおよび事業成果の達成度の自己評価

	多くの改善の余 地がある	想定した水準ま でに少し改善 点がある	想定した水準に あるが一部改善 点がある	想定した水準にある	想定した水準以上にある
(1)事業実施プ				0	
ロセス					
(2)事業成果の					0
達成度					

### 8-2事業実施の妥当性

当事業により、2020 年度から 2022 年にかけて、848 名へ派遣費用補助(基本的には自己負担額の半額)を行い対象者の家計負担を軽減し、子どもの体験機会の確保を図った。

また、アンケート調査においては、事前事後あわせて 1300 件以上の回答を得ることができ、派遣費の補助があったことで家計の負担は減ったと答える割合が 85.7%であった。

各家庭の派遣に関する自己負担率を半分程度へ近づける施策として、充分な効果が認められた。 多くの対象者が家計の負担が減ったと回答し、補助の効果が確認できた。

円卓会議は地元メディアでも大きく掲載され、派遣費用の課題について地域で共有できた。

### 9. 提言

現在、離島住民に対して沖縄県が実施している航空運賃補助があるが、新幹線運賃並みが目標となっており、石垣-那覇間は割引後で往復23,000円程度である。

これを JR 在来線または高速バス運賃並みにすることも解決の一助となるのではないか。 また、自走化の手段としては、子どもの活動資金造成を目的とした祭りの開催を計画している。

具体的には、祭りの出店者と出演者を子ども関連団体に限定し、資金造成の手段とする。

同様の課題を抱える地域への先行事例として、ノウハウを共有、波及効果を高め社会的成果の最大化を図りたい。

### 10. 知見・教訓

離島の離島である八重山地域は県大会へ出場するにも、航空運賃・宿泊費が発生し大きな負担となっている。

地域に明るい話題を提供している強いチームほど負担感も大きく、兄弟がいる場合はその分増える。なかには入部を躊躇したり、遠征に参加できない子どももいる。

父母会等は資金造成等の活動で支えているが限界がある。

当事業で得られたデータも活用し、沖縄県も含め地域全体で子どもたちの参加機会の平等を支える仕組みづくりが必要。

### 11. 資料(別添)

- ・事業の様子がわかる写真資料
- ・アンケート結果報告書
- •報道資料

当事業をきっかけに、島の子ども応援まつり実行委員会委員会が立ち上がり、派遣費用補助拡充や資金造成イベントの開催について協力要請を行った(令和5年1月26日八重山毎日新聞記事)

部活派遣の問題を考えるシンポジウムがみらいファンド主催で開催された(令和 5 年2月19日琉球新報記事)



も応援まつり実行委員会」(喜納正雄実行委員長)がこのほど発足し 新栄公園で資金造成に向けた「子ども応援まつり」 垣費補助拡大を求める要望」<br />
を行った。 離島の子どもたちの部活動費 を開催することになった。 造成などを目的に「島の子ど 5月28日に



等の派遣費用補助拡大を求める要望を行う喜納正雄実行

征・活動資金を造成す の負担はまだ大きい

て長寿をあやかった。

ちが県大会の出場や部活動 る。 県の支援も必要だと考え 財政と相談して検討させて り実力を発揮できるよう、 移動や宿泊費がかからな が九州や全国大会で思い切 内の子どもなのに、 国や県への支援を要請する 援拡大も求めたい」と述べ とともに市の補助事業の支 小中学生は本島開催なので 中山市長は「同じ沖縄県 その格差については、 市も新年度でできるか 本島の

室がアを

も多い。機会の損失や潜在 をすること自体諦めること 的な離島格差が起きてい 一子どもたち ほしい」と答えた。

る」と指摘。

# 一原さんのカジマヤ 家族らに囲まり

数え97歳の上原キミさん ひ孫18人、



23歳のとき、

石垣市登野城―のカジマ ドが22日、 恵まれた。

設市場で魚を売って生活を 年8歳)と結婚し、 に嫁いた。以来約50年、 子6人、

恥ずかしい」などの意見が

当たりの新規陽性者数は前

直近1週間の人

みらいファンド沖縄

が登壇、 問題を考えるシン 石垣市の関係者ら ノポジ

雕島の部活動等派遣費問題 シンポジウムは 「沖縄

状を報告 万円かかるようで などに飲食店を出店 喜納氏は部活動派遣 芸能部は全国

ると伝えた。 型コロナ禍で減少 資金造成する取り組みも新 資金造

増えたと報告。 全国大会出場のチャ の部活動派遣人 石川氏は石垣市から本島 (22年) スポ 、数が10年 ンスが

-ビスなどを掲げた。



=18日午後、なは市民協働プラザ

90歳以上の男女93人の新型 40代の16人が最多。30代14 されたと発表し クが高い発生届け出対象者 (10代、50代の12人と続く 新規陽性者数は年代別で 県は15日 0曜日から40 減少した。 だった。 イルス陽性が確認 10歳未満から た。 4% 重症化リス 前週の

活動生への支援強化が必要 業をつなぐ基金プロジェク 税活用、競技団体と地域企 沢案として<br />
県のふるさと納 で煩雑な旅行手配 技種目による費用負担格差<br/> >地域による旅費格差>競 ト、旅費コストダウンを目指 の課題を掲示。今後の解 成長の機会格差で した。 口選手を増やす上でも部 主催者は派遣費問題から





- ・八島マリンズ沖縄大会写真 全日本バレーボール小学生大会沖縄県大会参加時の写真。
- ・子どもまつり記事

当事業を通して、要望の多かった派遣費用補助拡大について、実行委員会を立ち上げ石垣市長へ要請を行った。

・離島派遣シンポ記事

部活動の派遣費用の問題を考えるシンポジウムが開催され、琉球新報等で報じられた。

- ・八重山高校カラーガード部全国大会 沖縄県大会を勝ち抜き全国大会へ出場。最高賞に輝いた。 (全国大会出場時に派遣費用補助実施)
- ・石垣二中マーチングバンド全国大会 沖縄県大会を勝ち抜き全国大会へ出場。最高賞に輝いた。 (県大会出場時に派遣費用補助実施)

# 八重山離島の子ども派遣基金事業

派遣費用に関するアンケート調査報告書

2023 年 3 月 30 日 株式会社ハブクリエイト

### 1. アンケートの目的

当アンケートは、八重山離島の子ども派遣基金事業における、子供達の大会等派遣費用に関する現状や課題について整理することを目的とする。

### 2. 対象者

派遣補助対象団体(子供、保護者、指導者等)

### 3. 調査方法

大会派遣前後にインターネットによる調査を行った。

### 4. 回答数

### 【派遣前調査】

アンケート回答数 738件

### 【派遣後調査】

アンケート回答数 626件

### 5. アンケート結果

- ・調査項目および回答(詳細は別紙1参照)
- ・自由記述の回答(詳細は別紙2参照)

### 【派遣費用負担感について】

派遣前後とも「大きい」「とても大きい」を合わせ88.2%と派遣費用に関する負担感が大きい状況にある。

### 【派遣費用補助がある場合の家計への効果について】

派遣補助がある場合の家計負担への効果について、「大きい」「とても大きい」が90.3%となっており、補助の必要性が確認できた。

### 【負担が軽減された場合、活動に与える影響について】

補助等により家計費用負担が軽減された場合の活動に与える影響について、「大きい」「とても大きい」が派遣前88.8%、派遣後93.1%となり、補助の効果が確認できた。

### 【負担が原因で入部や遠征をあきらめる例がある】

入部や遠征をあきらめる例について、「多い」「とても多い」が 61.8%あり、子供の機会公平性に金銭的理由が生じている状況がある。

【(子供への質問) クラブ活動に参加するとき、心配ごとがありますか】 「とてもある | 「ある | が 38.7%であった。

【(子供への質問)入部や派遣のとき、費用の負担について気にすることがありますか】「ある」「とてもある」が派遣前で70.4%、派遣後71.1%となった。 費用負担について子供への影響がでていることが浮き彫りとなった。

【(子供への質問) 島外での経験を増やしたいですか】 93.7%が「増やしたい」と回答した。 子供達が島外での経験を増やしたいとの結果となった。

【(子供への質問) 島外の人と比べて、大会などの経験が不足していると思いますか】 86.7%程度が「不足している」と回答した。

離島の子供達が島外の子供に比べて経験の面で不利性を認識している結果となった。

【派遣費の補助があったことで家計の負担はどうなりましたか】 85.7%が「減った」、10.7%「変わらない」と回答した。 ほとんどの対象者が家計の負担が減ったと回答し、補助の効果が確認できた。

【補助前より、遠征に参加しない子どもが減ったり、安心して参加できる子どもが増えた】 65.3%が「減った」、30.4%「変わらない」と回答した。

今回の補助は自己負担の半額を基本としており、安心して大会に参加できる環境提供としては、不足している部分も見受けられた。

### 6. 考察

派遣費用の負担が大きく、離島の子供達の機会公平性に影響が生じている状況にあることが浮き彫りとなった。

派遣費用補助を行うことにより、家計負担を軽減させ、より質の高い活動や経験を積むこと への一助となることが確認できた。

子供や親が諦めない環境を作るためにも、公的補助の充実を図るとともに、地域で支えてい く仕組み作りが必要である。

### 7. 自由記述から抜粋

· 保護者、指導者等

本島の子供たちは、県大会でも遠くても移動は車でできますが、離島の子供たちは、飛行機で移動して、ホテルに泊まって…と身体的な負担もあります。

過庭における派遣費の負担も、兄弟が多ければおおいほど、大きくなります。

少しでも、助成がおりたら、とても助かります。

活躍するのは嬉しいが、そのぶん、道具の消耗が激しかったり、大会へ参加のため本島へ行 く回数も増える。

移動や洗濯など身の回りの世話のために保護者もいく。

日々の生活で節約。派遣費用の確保。

補助があると気持ちに余裕もでき、助かります。

派遣補助金があることで、その他、部活に必要な道具(シューズ、サポーター)等の購入資金 にあてられて助かる

毎回、子供たちのサポートのため親も同行するがその分は市の補助はないので助かる 遠征費が高く、行けなくなってしまったり、出場機会が減ってしまうのはかわいそう。

部活をやっている子供にとって、県大会や県外派遣の費用負担はとても大きいです。 ぜひ、 公的な補助で多くの子供へ機会を与えてほしいです。

離島の小・中・高全ての部活は、県大会(地元開催以外)に出場するためには飛行機で沖縄本島まで行かなければならないためその都度旅費(交通費&宿泊費&現地諸経費)の大半を家庭から捻出しなければならない。家庭からの捻出を少しでも軽減させるために殆どの部活動父母会はイベントへの出店など資金捻出活動を行なっているが、昨年のコロナ禍の影響で全てのイベントが自粛状況にあるためその活動もできない状況であり、どの部活動父母会も会の資金調達に苦慮している現状である。文化系(マーチングや吹奏楽部、郷土芸能)などは楽器などの人以外の輸送費も派遣費にプラスされてのしかかってくるので、移動距

離の大きい九州大会、全国大会出場となるとその負担は大きくなるばかりである。子供達は 勝つために一生懸命練習し、父母会もそれを支えて共に優勝する事を喜ぶが、強くなればな る程、派遣費負担が家計に重くのしかかるという離島ならではの不利生を感じ。

今回のハブクリエイト様の派遣基金事業を教育委員会がバックアップしてより多くの企業 に賛同と参画を広めていって欲しい。

離島だから、母子家庭だからと言う理由で子供達の経験を諦めさせて欲しくないのが切な 願いです。

兄弟で、入ってるので、負担は2倍で、大変です。

家計の負担の有無に関わらず

どんな状況でも、子供為に親は派遣に行かせてあげたいと思う。

離島からの派遣は、年に数回もあるので、経済的に負担が大きい。

離島からの参加に子どもたちの心身的な負担もある。派遣費補助があれば、ホテルや、食事など、環境を整えることができ、ベストな状態で大会に挑ませることができます。

離島のハンディを補うには、積極的な島外派遣が必要だと常々思う。

大会参加への離島の子供達の支援金を有効に活用でき、心から感謝申し上げます。少しでも 多くの機会を、公平に、少数でも限りなく平等に支援をしていける社会になって欲しいと願 います。

補助金の支給、どうぞ今後とも宜しくお願い致します。

今回の県大会派遣は台風の影響を大きく受けて大会日程は元より派遣全体のスケジュールも大幅に変更になりました。離島の場合大会期間中に台風などの自然災害などに遭遇した時は宿泊の延長、それに付随する諸々の派遣諸経費が重なって、父母会の各家庭にのしかかってきます。また今回は沖縄本島のコロナ禍が拡大する中での大会参加であったため、事前にコロナ感染した場合には本島での 2 週間の入院 (親も付き添い)の承諾書も提出義務がありました。幸いにもそのような状況にはなりませんでしたが、離島の学校から派遣に参加するには様々なリスクと経済的負担がのしかかってくると改めて感じました。

この度はご支援いただき本当にありがとうございました。

実際、かかる費用が大きかったので、

遠征に行くか、行かないかでもの凄い揉めました。

最後の方まで行く決断をする家庭が少なく、

最低限必要なメンバーが揃わない状況でした。

このご支援ができると分かって、

やっと参加のメンバーが増えました。

そして何より、子供達に素晴らしい経験をさせる事ができました。

本当に心から感謝しております。

離島の子供たちは遠征費がよりかかります。強いチームほど多額になるので、子供達が親の 負担を気にせずに参加できるよう、宜しくお願いします。

スポーツ、文化系に入っている子供たちが派遣費に困らないような仕組みがあればよいと 思います。

出来れば、事後の補助ではなく事前の補助なしてもらえるととても助かる。

兄弟等が複数いる場合は、負担が多くなるので、活動に制限をしてしまう時もあり、心から 応援できないのが苦しい。

今回我が家から二人派遣される予定なので、いかせることができないのではないかと困っていました。

部員数にもよりますが、希望するのであればレギュラー、補欠、ベンチ外でも部員全員が派 遣に行けるとありがたい。

各学校の外部コーチなどがいるおかげで子どもたちは部活動を頑張ることが出来るとおもいます。石垣市の子どもたちのために頑張っている、監督、コーチなどの補助も、石垣市が 負担し、子どもたちの派遣費用を少しでも軽くしてほしい。

子供2人部活動をしていますが、部費、部着、部活に必要な物一式(サイズアウトや汚れなどによる買い替え)、派遣費、休日の軽食、トータルで見ても、我が家にはとても負担が大きく、2人のうち1人は派遣を辞退している場合もあります。

小学生 4 年くらいまでの派遣だと、子どもが心配でついていくことがあるので、親の旅費 も負担になる。

子供達の派遣は、結局親もついていってサポートしなければならない。その為、子供の遠征 費問題は、背景には子供の派遣費代が大変という単純な事だけではない。 明らかに離島の子供は経験を積むという点では不利。コロナなど感染症が流行ると更に派遣へ行くハードルが上がってしまう。

島に住んでいると大会や遠征など、金銭面での負担が大きい。子どもが多いとなおさらです。 子どものことを応援したい気持ちとお金が…という気持ちになります。

子どもたちのがんばりは応援したいが、もし、全国出場となった場合、旅費の工面は正直言ってキツい

マーチングは年1回なので何とか捻出できますが、全国もとなるとかなり厳しく感じます。 少しでも補助や基金など利用出来たらありがたいです。

市の補助がとても少なく、小学生ともなると、保護者がついていくことも必須になる場合も あり、とても厳しい状況です。

派遣日程が決定に時間を要する事もあり、ホテル、航空券の予約等が更に遅れ、派遣費が高くなる事もある。子供の派遣が高いと父兄は引率や応援も断念する事もある。補助金はとても嬉しいのですが、補助金が出ずに支払い時に補助が先に受けれる事が出来れば、もっといいと思います。

部活は、お金かかる事は親も子どももわかるので、最初から入部しないと思います。入って からやめる場合もあるかもしれないが、大人が、父母会活動が、嫌なので入らないこともあ る。

子供はどうにか遠征費を捻出して行かせられも、サポートとして必要でも付き添いに行けない父母がいる。

母子家庭や、兄弟が重なった場合、諦めたりされたのを知っていますが、本当はもっと多いと思います。お金の事は他人に言いづらいですね。入部の段階で諦めることもあるのではないでしょうか。実際、コロナで大会が無くなった事は残念でしたが、派遣費の負担が軽くなって、ホッとしたのも事実です。

中学生の頃県選抜に選出されていたが、派遣費の負担が大きくほとんど選抜練習に参加出 来なかった。子供に申し訳なく思っている。 県大会へ出場する場合、離島の選手だけ負担が生じる仕組みに問題がある。

みんな沖縄県内に住んでいるのに金銭面の負担や経験機会の格差を感じる。「であるのであれば引っ越せ」とか乱暴な話ではなく、県として仕組みで解決して頂きたい。

### ・高校生

家族が多いので、普段の生活費もあるなかの2人分の派遣費の準備など大変で、両親は、あ さから、よるまで、バイトもしているので、負担が減るなら、とっても、嬉しい。

八重山は1人親世代や低所得者が多いので補助金を増やした方がいいと思う

### ・中学生

本島は、たくさん学校があるので、練習試合をしたりできるけど、離島は学校も少ないから、 限られた学校で練習しなければいけないので、本島に親の負担を少なく、遠征に行かせても らえたら、たくさん経験もできるのでうれしいです。

派遣費を気にせずに大会に参加したい! いろんな大会に参加して経験を積みたい! 今だけでなく、これからの活動に繋げていけるようにしたい!!

全国大会には行きたいけど、家のお金が大丈夫か気になる

島外のイベントや派遣にもっと行って、色んな経験をして、色んな人に知ってもらって、視 野を広げたいです。

練習試合とかもバンバンやりたいけど、お金がかかるから出来ないのが悔しい

県トレに挑戦したいけど、飛行機代を考えると諦めないといけないかと思う。

金銭面の心配無く、活動がしたい

練習試合の相手が居ない

### ・小学生

同じ小学生とは思えないプレイをしている人が多くて学ぶことが多かったです。もっとた

くさん練習して、追い越したいと思いました。良い体験をさせてもらいました。ありがとうございました。

内地の同学年の体の大きさや技を見れてとても勉強になりました。

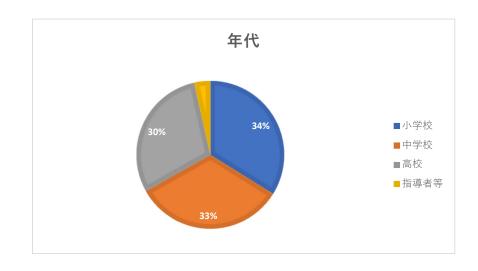
石垣からも沢山遠征を積んで経験をたくさんしたい。

派遣は楽しくて行きたいけど、お姉ちゃんや弟もいるのでママが大変だなと思うときがあります。

### 八重山離島の子ども派遣基金事業 アンケート項目別結果(派遣前)別紙1参照

### 年代について

小学校	202
中学校	197
高校	177
指導者等	21
合計	597



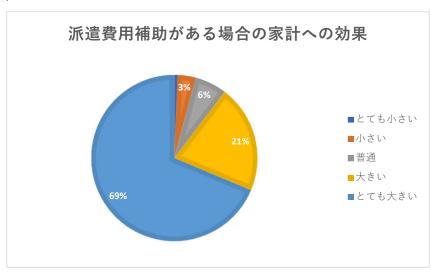
### クラブ活動の派遣費用負担感について

とても小さい	6
小さい	10
普通	43
大きい	67
とても大きい	390
合計	516



### 派遣費用補助がある場合の家計への効果について

とても小さい	4
小さい	22
普通	39
大きい	131
とても大きい	430
合計	626



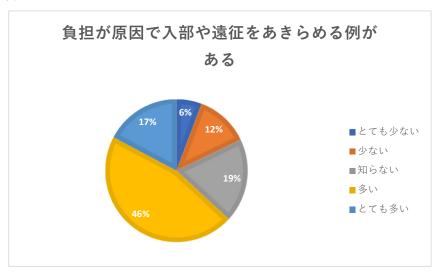
### 負担が軽減された場合、活動に与える影響について

とても小さい	4
小さい	8
普通	48
大きい	156
とても大きい	410
合計	626



### 負担が原因で入部や遠征をあきらめる例がある

とても少ない	36
少ない	76
知らない	119
多い	287
とても多い	108
合計	626



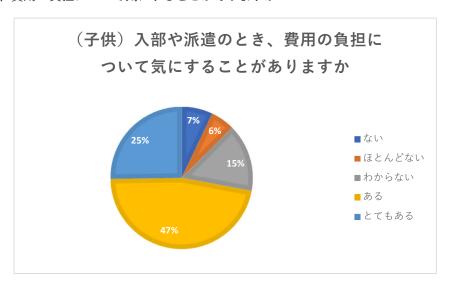
### (子供への質問) クラブ活動に参加するとき、心配ごとがありますか

ない	139
ほとんどない	130
わからない	67
ある	185
とてもある	30
合計	551



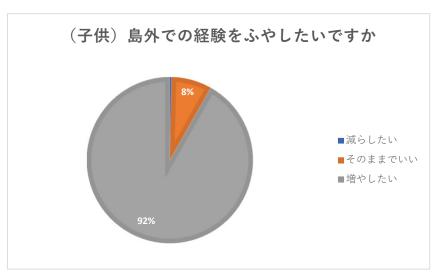
### (子供への質問) 入部や派遣のとき、費用の負担について気にすることがありますか

ない	39
ほとんどない	30
わからない	85
ある	258
とてもある	139
合計	551



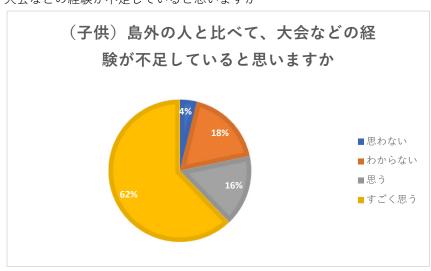
(子供への質問) 島外での経験をふやしたいですか

減らしたい	2
そのままでいい	43
増やしたい	504
合計	549



(子供への質問) 島外の人と比べて、大会などの経験が不足していると思いますか

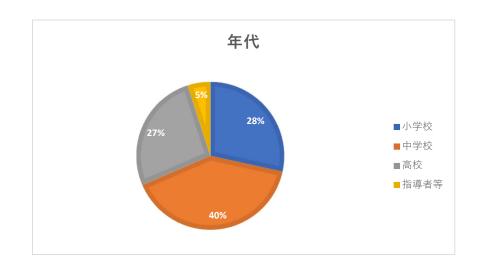
思わない	16
わからない	75
思う	68
すごく思う	261
合計	420



### 八重山離島の子ども派遣基金事業 アンケート項目別結果 (派遣後) 別紙1

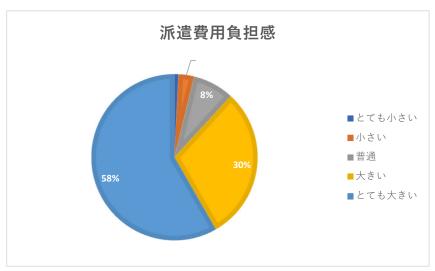
### 年代について

小学校	178
中学校	251
高校	166
指導者等	31
合計	626



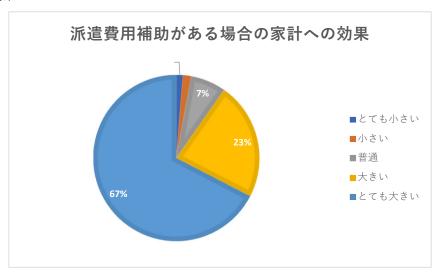
### クラブ活動の派遣費用負担感について

とても小さい	5
小さい	19
普通	50
大きい	187
とても大きい	365
合計	626



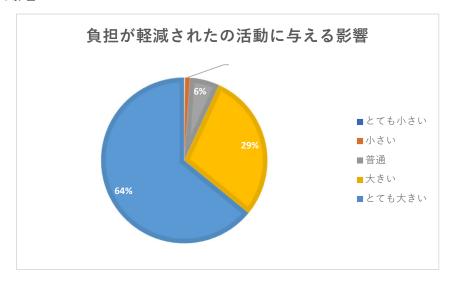
### 派遣費用補助がある場合の家計への効果について

とても小さい	8
小さい	10
普通	43
大きい	143
とても大きい	422
合計	626



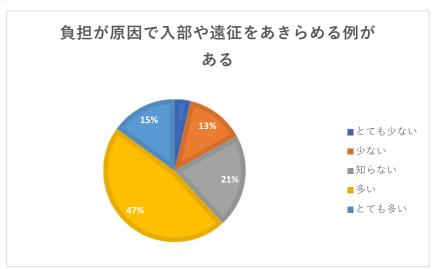
### 負担が軽減された場合、活動に与える影響について

とても小さい	1
小さい	6
普通	36
大きい	182
とても大きい	401
合計	626



### 負担が原因で入部や遠征をあきらめる例がある

とても少ない	23
少ない	83
知らない	133
多い	293
とても多い	94
合計	626



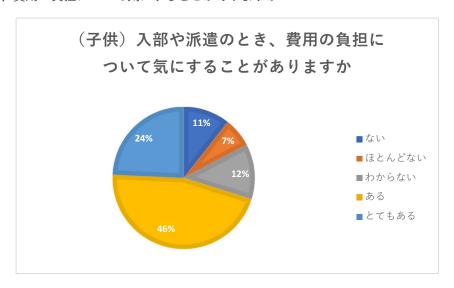
### (子供への質問) クラブ活動に参加するとき、心配ごとがありますか

ない	142
ほとんどない	110
わからない	92
ある	179
とてもある	38
合計	561



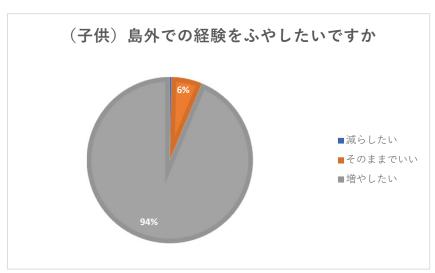
### (子供への質問) 入部や派遣のとき、費用の負担について気にすることがありますか

ない	59
ほとんどない	37
わからない	70
ある	255
とてもある	135
合計	556



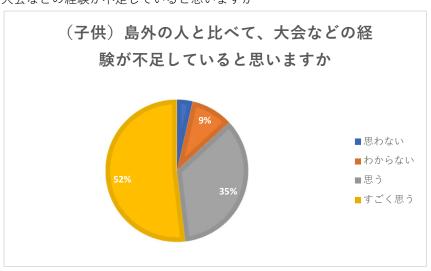
(子供への質問) 島外での経験をふやしたいですか

減らしたい	2
そのままでいい	33
増やしたい	520
合計	555



(子供への質問) 島外の人と比べて、大会などの経験が不足していると思いますか

思わない	20
わからない	53
思う	195
すごく思う	289
合計	557



### 八重山離島の子ども派遣基金事業 自由記述 (派遣前) 別紙 2

二中バレー部	本島の子供たちは、県大会でも遠くても移動は車でできますが、離島の子供たちは、飛行機で移動して、ホテルに泊まって…
	と身体的な負担もあります。
	過度における派遣費の負担も、兄弟が多ければおおいほど、大きくなります。
	少しでも、助成がおりたら、とても助かりす。
二中バレー部	活躍するのは嬉しいが、そのぶん、道具の消耗が激しかったり、大会へ参加のため本島へ行く回数も増える。
	移動や洗濯など身の回りの世話のために保護者もいく。
	日々の生活で節約。派遣費用の確保。
	補助があると気持ちに余裕もでき、助かります。
二中バレー部	派遣補助金があることで、その他、部活に必要な道具(シューズ、サポーター)等の購入資金にあてられて助かる
	毎回、子供たちのサポートのため親も同行するがその分は市の補助はないので助かる
	遠征費が高く、行けなくなってしまったり、出場機会が減ってしまうのはかわいそう。
二中野球部2040冬	未来ファンド沖縄さんの派遣費補助事業を活用させて貰い、全ての家族及び指導者が感謝しております。
二中野球部2041冬	このような取り組みに本当に感謝致します。
	母子家庭でもあり 地区大会に勝って 県大会へという思いと派遣費用という心配が少しでも軽くなる事がありがたく 感謝致し
	ます。
	今後もこの様な取り組みが続いて行けることを心から願います。
	ありがとうございます。
二中野球部2042冬	今回このような補助がある事を初めて知りました。派遣費用をどうしようかと思っていたので、とても助かりました。
二中野球部2043冬	部活をやっている子供にとって、県大会や県外派遣の費用負担はとても大きいです。ぜひ、公的な補助で多くの子供へ機会を
	与えてほしいです。
二中野球部2044冬	離島からの遠征の場合には大会や試合前日に入り宿泊先や練習場、マイクロバスなどの確保にも配慮していただきたい。
二中野球部2045冬	子供の分の補助が出れば、親が応援に行けるようになるのでありがたいです。
野球八重山選抜	兄弟で野球をしているため派遣が重なり家計がとても厳しいと思う事がある。
石中野球 2021	今回の派遣に伴い、コロナ禍の影響で
	  仕事の収入も少ない中、毎日子供達は目標に向かって野球を頑張り文武両道で皆野球を楽しんでいます。派遣の感染予防に気
	をつける為に消毒や飲み物等で予防出費が重なる中休眠口座の利用を無駄にしないように派遣活動を頑張ります。
	宜しくお願いします。
石中野球 2021	離島の小・中・高全ての部活は、県大会(地元開催以外)に出場するためには飛行機で沖縄本島まで行かなければならないた
7. 1. 2. 3	めその都度旅費(交通費&宿泊費&現地諸経費)の大半を家庭から捻出しなければならない。家庭からの捻出を少しでも軽減
	させるために殆どの部活動父母会はイベントへの出店など資金捻出活動を行なっているが、昨年のコロナ禍の影響で全てのイ
	ベントが自粛状況にあるためその活動もできない状況であり、どの部活動父母会も会の資金調達に苦慮している現状である。
	文化系(マーチングや吹奏楽部、郷土芸能)などは楽器などの人以外の輸送費も派遣費にプラスされてのしかかってくるの
	で、移動距離の大きい九州大会、全国大会出場となるとその負担は大きくなるばかりである。子供達は勝つために一生懸命練
	習し、父母会もそれを支えて共に優勝する事を喜ぶが、強くなればなる程、派遣費負担が家計に重くのしかかるという離島な
	らではの不利生を感じ。
石中野球 2021	コロナ渦の生活困窮の中、派遣を諦める生徒や保護者は、最初から部活に入らず、希望や目標を別に設定していると思いま
1 1 3 % 2021	す。
	/・ 派遣費は100%国が補助する方が格差を軽減できると思います。
 平真バスケ	県外への大会参加で夏の繁忙期ともなり、飛行機代や宿泊費がハイシーズン料金で助かります。
平真バスケ	今回補助をいただけなかったら、チームとして実際に派遣を諦めざるをえなかったかもしれません。補助をいただけて、本当
1 54.77	に感謝しています。ありがとうございました。
八重高郷土芸能	小中高の兄弟なので、派遣費負担はとても大きく、家計を圧迫しています。
八主同邓工五配	なので、このような補助金制度はとても有難いですm()m
	なのと、このような情別並削及なことの行業がです間(こ/川
八重高郷土芸能	離島はそれだけで既にハンデ…せめて…をやはり行政にお願いしたい…
八重高郷土芸能	母子家庭なので派遣回数や費用がどのくらいか年単位で予め把握したい。
八王问邓上云比	今回のハブクリエイト様の派遣基金事業を教育委員会がバックアップしてより多くの企業に賛同と参画を広めていって欲し
	」。 離島だから、母子家庭だからと言う理由で子供達の経験を諦めさせて欲しくないのが切な願いです。
八重高郷土芸能	
	兄弟で、入ってるので、負担は2倍で、大変です。
八重高郷土芸能	子供の為に、家計が大変でもどうにかやりくりして遠征費は出しています。補助金が頂けるのは本当に助かります。感謝で
n <del>-</del>	す。
八商エテクノラリー	低所得者には特に金銭面に負担が大きいので補助金を増やして欲しい
八重高郷土芸能	家族が多いので、普段の生活費もあるなかの2人分の派遣費の準備など大変で、両親は、あさから、よるまで、バイトもして
3 子 文 / / / / / / / / / / / / / / / / / /	いるので、負担が減るなら、とっても、嬉しい。
八重高郷土芸能	八重山は1人親世代や低所得者が多いので補助金を増やした方がいいと思う

### 自由記述 (子供)

高校生	家族が多いので、普段の生活費もあるなかの2人分の派遣費の準備など大変で、両親は、あさから、よるまで、バイトもして
	いるので、負担が減るなら、とっても、嬉しい。
高校生	八重山は1人親世代や低所得者が多いので補助金を増やした方がいいと思う
小学生	ありがとうございました。今回の経験を今後活かしたいです。
小学生	仲間と一緒に大会に参加できてうれしいです。ありがとうございました。

# 八重山離島の子ども派遣基金事業 自由記述(派遣後)別紙2

八重山離島の子	ども派遣基金事業 自由記述(派遣後)別紙 2
二中バレー部	本島の子供たちは、県大会でも遠くても移動は車でできますが、離島の子供たちは、飛行機で移動
	して、ホテルに泊まって…と身体的な負担もあります。
	過庭における派遣費の負担も、兄弟が多ければおおいほど、大きくなります。
	少しでも、助成がおりたら、とても助かりす。
二中バレー部	
	お増える。
	でねんる。    移動や洗濯など身の回りの世話のために保護者もいく。
	日々の生活で節約。派遣費用の確保。
	1 への主点で助料。   派遣員用の確保。   補助があると気持ちに余裕もでき、助かります。
二中バレー部	派遣補助金があることで、その他、部活に必要な道具(シューズ、サポーター)等の購入資金にあて
一十ハレー即	が、
	毎回、子供たちのサポートのため親も同行するがその分は市の補助はないので助かる
— + mz ++ ÷7,00,40, fz	遠征費が高く、行けなくなってしまったり、出場機会が減ってしまうのはかわいそう。
二中野球部2040冬	未来ファンド沖縄さんの派遣費補助事業を活用させて貰い、全ての家族及び指導者が感謝しており 
	ます。
二中野球部2041冬	このような取り組みに本当に感謝致します。
	母子家庭でもあり 地区大会に勝って 県大会へという思いと派遣費用という心配が少しでも軽くな
	る事がありがたく 感謝致します。
	今後もこの様な取り組みが続いて行けることを心から願います。
	ありがとうございます。
	   今回このような補助がある事を初めて知りました。派遣費用をどうしようかと思っていたので、と
—   13 % GP20 +2 ?	ても助かりました。
	部活をやっている子供にとって、県大会や県外派遣の費用負担はとても大きいです。ぜひ、公的な
13 %\\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	補助で多くの子供へ機会を与えてほしいです。
	離島からの遠征の場合には大会や試合前日に入り宿泊先や練習場、マイクロバスなどの確保にも配
	慮していただきたい。
	子供の分の補助が出れば、親が応援に行けるようになるのでありがたいです。
野球八重山選抜	兄弟で野球をしているため派遣が重なり家計がとても厳しいと思う事がある。
石中野球 2021	今回の派遣に伴い、コロナ禍の影響で
	仕事の収入も少ない中、毎日子供達は目標に向かって野球を頑張り文武両道で皆野球を楽しんでい
	ます。派遣の感染予防に気をつける為に消毒や飲み物等で予防出費が重なる中休眠口座の利用を無
	駄にしないように派遣活動を頑張ります。
	宜しくお願いします。
石中野球 2021	離島の小・中・高全ての部活は、県大会(地元開催以外)に出場するためには飛行機で沖縄本島ま
	で行かなければならないためその都度旅費(交通費&宿泊費&現地諸経費)の大半を家庭から捻出
	しなければならない。家庭からの捻出を少しでも軽減させるために殆どの部活動父母会はイベント
	への出店など資金捻出活動を行なっているが、昨年のコロナ禍の影響で全てのイベントが自粛状況
	にあるためその活動もできない状況であり、どの部活動父母会も会の資金調達に苦慮している現状
	である。文化系(マーチングや吹奏楽部、郷土芸能)などは楽器などの人以外の輸送費も派遣費に
	プラスされてのしかかってくるので、移動距離の大きい九州大会、全国大会出場となるとその負担
	は大きくなるばかりである。子供達は勝つために一生懸命練習し、父母会もそれを支えて共に優勝
	する事を喜ぶが、強くなればなる程、派遣費負担が家計に重くのしかかるという離島ならではの不
	利生を感じ。

コロナ渦の生活困窮の中、派遣を諦める生徒や保護者は、最初から部活に入らず、希望や目標を別
に設定していると思います。
派遣費は100%国が補助する方が格差を軽減できると思います。
県外への大会参加で夏の繁忙期ともなり、飛行機代や宿泊費がハイシーズン料金で助かります。
今回補助をいただけなかったら、チームとして実際に派遣を諦めざるをえなかったかもしれませ
ん。補助をいただけて、本当に感謝しています。ありがとうございました。
小中高の兄弟なので、派遣費負担はとても大きく、家計を圧迫しています。
なので、このような補助金制度はとても有難いですm()m
離島はそれだけで既にハンデ…せめて…をやはり行政にお願いしたい…
母子家庭なので派遣回数や費用がどのくらいか年単位で予め把握したい。
今回のハブクリエイト様の派遣基金事業を教育委員会がバックアップしてより多くの企業に賛同と
参画を広めていって欲しい。
離島だから、母子家庭だからと言う理由で子供達の経験を諦めさせて欲しくないのが切な願いで
वं 。
兄弟で、入ってるので、負担は2倍で、大変です。
子供の為に、家計が大変でもどうにかやりくりして遠征費は出しています。補助金が頂けるのは本
当に助かります。感謝です。
低所得者には特に金銭面に負担が大きいので補助金を増やして欲しい
家族が多いので、普段の生活費もあるなかの2人分の派遣費の準備など大変で、両親は、あさか
ら、よるまで、バイトもしているので、負担が減るなら、とっても、嬉しい。
八重山は1人親世代や低所得者が多いので補助金を増やした方がいいと思う
ありがとうございました。今回の経験を今後活かしたいです。
仲間と一緒に大会に参加できてうれしいです。ありがとうございました。
離島に住んでいるというだけで、日程や費用などの面から諦めてしまう事が多いですが、そもそも
  費用を心配してクラブ活動への参加自体を諦めている家庭もあるので、費用の面の補助は非常にあ
りがたいです。
^ ^ ^ ^ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~
い経験がさせてやれると思います。本当に、ありがとうございました。
いに受力ととくいれると心がより。本当に、めりかとうとさいよした。
離島や遠い地域の為の活動ありがとうございます。西表島からしますと、石垣への船代、石垣港か
   ら会場への移動のタクシーやレンタカー、我々上原地域に限りましては、試合の多い冬場の悪天候
  による上原航路の欠航による、大原港への移動のガソリン代(往復で100km程もあります。)などな
ど、正直費用は大変な負担となっています。ただやはり子供達には、試合や交流してほしいので毎
回必ず行かせたいと思っていますが、正直費用は大変というのが現状です。
回めずりがせたいと心力といよすが、正直貝用は八支というのが死仏とす。
先に支払わなければいけないためか、参加しない子供がいることを後で知り、悲しい。
先に支払わなければいけないためか、参加しない子供がいることを後で知り、悲しい。 すぐ上の、減った、増えたの回答欄は、質問からどっちで回答したら良いか分かりにくいです
すぐ上の、減った、増えたの回答欄は、質問からどっちで回答したら良いか分かりにくいです
すぐ上の、減った、増えたの回答欄は、質問からどっちで回答したら良いか分かりにくいです
すぐ上の、減った、増えたの回答欄は、質問からどっちで回答したら良いか分かりにくいです
すぐ上の、減った、増えたの回答欄は、質問からどっちで回答したら良いか分かりにくいです コロナにかかり、帰りの飛行機にのれず、親子でかなり普段がかかりました

·	
バレー(小学生7	この度は、派遣費用を補助頂きましてありがとうございました。心より感謝、御礼申しあげます。
チーム)	
バレー(小学生7	派遣費の援助が少しでもあるとすごい助かります。(特に私たちは2人もいるので)
	ありがたいです。
チーム)	今後も子どもたちの貴重な経験、成長のためによろしくお願いします。
 バレー(小学生7	┃  年に一度ではなく2~3回派遣がある事、兄弟で部活をしたいるとその負担はさらに大きくなる
チーム)	
,	事、少しでも補助がある事は嬉しいですが、それでも出費は大きいです。
バレー(小学生7	派遣時子供達に安心した宿泊先を探すことが出来る
チーム)	
	この度の派遣費補助には、大変お世話になりました。
	子供達ののびのびとしたプレーの甲斐あって同率3位(4位)の成績を収める事が出来ました。
	大きな体育館やネームバリューに
バレー(小学生7	
チーム)	子供達も萎縮しまっている感が見えました。もっともっと気がるに対外試合が出来る環境が整って
ナーム)	いればと引率していて思いました。
	また、仮決定ではありますが九州地区大会に出場権も もらう事が出来ました。 
	九州地区大会に出場出来ましたら、また、派遣費補助の申請をさせてください。ヨロシクお願いし
	ます。
バレー(小学生7	特に兄弟がいる家庭などは、派遣費用に頭を抱えています。派遣費用補助は、本当にとても助かり
チーム)	有難く思います。
	県大会後、全国大会等へと続きます。補助が一回のみならず、次の大会等でも複数回使えるととて
	もありがたいです。
バレー(小学生7	ハイシーズンの航空貸、宿泊代とても負担になります。県外ともなれば、子供だけ行かせるのも不
チーム)	安です。親が付き添えば家計への負担は相当になります。子供だけでも手厚く補助してくださると
	とてもありがたいです。
	면수생수록무소보기 선호 coope e부탁 중소기 등 중기기 보다. 현리되다스보
石垣中学校野球部	現在教育委員会より一律8.000円の補助ですが、だいぶ後から戻ってくるし、苦しい家計には今苦
	しいわけであり、しかも8,000円程度ではあまり、負担軽減されてる感覚はないです。
	派遣費補助、大変助かります
部	
石垣二中マーチング	今後も同様の事業を継続していただきたい。
部	
	沖縄本島での大会へ派遣では助成が受けられ、大変助かりました!ありがとうございました。県大
石垣二中マーチング	会で優勝して全国大会出場が決定すると嬉しいですが、子どもの派遣費用の額も更に上がるので、
部	応援に行く家族の人数や旅費を考えると不安に感じます。
 石垣 <sup>-</sup> 中マーチング	
部	
	本当に助かりました。ありがとうございました!
	平当に切がりました。 <i>め</i> りがと ノこさいました! 
部	かりは大塚東なれがします。 フルキャール カヤッション ドロマード・エイ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	離島は交通費負担が大きく、子供達が、保護者の所得が原因で、様々なチャンスをあきらめること
	が多いです。離島の子供達にあきらめる思い出でななく、夢に向かって頑張った思い出を残してあ
部	げたい。ぜひ、このような補助事業は続けていただきたいです。
T = -1	
	当部活動は楽器の運搬や大道具もあり、保護者の力も必要なことから、家族で同行することになり
部	ました。本当に有り難く感謝しかありません。

	補助費があったおかげで個人負担が減り、必要な大道具を全て持っていくことができたり、両親が
平真マーチングレイ ンボー	揃って応援に行くことができたりしました
	本当にありがとうございました
平真マーチングレイ	派遣費補助は大変助かる。島外の指導者を石垣に呼ぶ費用も補助が出来れば助かる。
ンボー	
	兄弟で入部しているので、他の家庭よりも2倍のお金がかかり、また保護者が同行しないといけな
	いので、結局のところ親の遠征費もかかってくる。
	また、同行だけではなく保護社が子供の活躍をみたいこともあり、やはりそれなりに大きな金額が
亚古っ エンガレイ	各家庭に負担として来るなぁと言う印象です。
十具マーチングレイ ンボー	また、大人がお金の話をするからか、子供が部活へ友達を誘う際、このお家はお金大丈夫かな?と
ノ小一	考えると言っていました。
	知らず知らずのうちに子供もお金のことを気にしているのだと最近知りました。
八重山商工アイディ	派遣費の補助の返金がいつ返金されるのか明確にして欲しい。
アロボット部	
※ ₩ # 』 및 ₩ # # = →	離島に居る事が、弱みにならない
登野城小器楽クラブ	外に出る機会を助けていただき本当に感謝しております。
登野城小器楽クラブ	引率者もとても決めやすくなり感謝です。
八重山高校カラー	とても助かります。ありがとうございました! あまりお金の心配なく、大舞台に立てるチャンス
ガード部	に出演することができ、素直に嬉しさを子供と共感できます。
	中学の頃から県選抜で本島での練習があったが、費用の問題で参加出来なかった。国体の強化練習
八重山高校サッカー	にも参加できず
部	悔しい思いをした。
八重山高校女子フッ	派遣は個人で取りに行く方が良いと思うまとめてだといつ負担金がもどるのか良くわからない
トサル	
	県大会なので本島、離島の負担の差が生じないようにして欲しい。
八重山高校女子フッ	例えば、本島のチームから離島支援金を捻出してもらい大変さを共有して貰えるような仕組み作り
トサル	をしてもらいたい。
	ー 高校生になり度重なる遠征費の負担は想像を大きく超えるものでした。
八重山高校女子フッ	本島在住の学生並みの負担になればありがたいですが、少しでも今以上の補助をお願いしたいで
トサル	す。
 石垣二中バレー部	^。   子供が勝ち上がれ勝ち上がるほど家計が苦しくなる悲しい事実があります。
石垣二中バレー部	飛行機往復運賃だけでも補助して欲しいです
	県大会に参加することで子ども達の経験値も上がる。石垣島内だけでは限りがあり、県大会に参加
	する、しないでは大きな差がある。子ども達がより多く経験するためには、県大会への参加は必要
石垣二中バレー部	不可欠だと思う。だからこそ、このような補助金はすごくすごく助かります。。。ありがとうござ
	います。。。
石垣二中バレー部	家庭での旅行も我慢して派遣費に費やしています。少しでも安くなれば部活に打ち込める家庭も子
	供達も増えると思います。
	派遣費補助ほんとうに助かっています!特に今回のような新年度の前の出費が多い時や、夏休み等
石垣中野球部	のハイシーズンの場合。離島から行くには本当にお金がかかります。もう少し役所などの補助が増
	える事を希望しますね。
	」 すごくありがたい事業だと思います。ただ競技が限定されてるのが残念です。私の子供は陸上をし
石垣中野球部	ているのですが、それだと対象外だという事らしいです。
	イ ノ パムノナフ して中の口状 上げこ フのっぱれ パナフ し しっぱ ロレリナナ
小十工扒扒划外选扱	The state of the s

小学生軟式野球選抜	派遣費補助の有・無で、家計負担が大分軽減され助かります、今回利用できて本当に良かったで
小于工扒丸却冰医放	す。ありがとうございました。
郷土芸能(石垣二	慰問講演あると、踊りの回数も増える事で子供達の絆が深まると思います。
中)	
サッカー(八重山商	県外遠征等行けるように、派遣費用が安くなると良いと思います。
工)	
サッカー(八重山商	試合以外にも、合宿で島外にいけるチャンスがあったらうれしいです。
工)	
バレー(小学生7	沖縄派遣では、3位決定戦で負けてしまったけど、頑張ってきたかいがありました。もっともっと
チーム)	練習して次は優勝したいと思います。(父 代筆)
石垣中学校野球部	社会性や競技力を向上するために大会参加や島外への遠征を増やしたい。
八重山高校カラー	他の学校の演技を観る機会が少ないので、交流や大会がもっとあればよい。
ガード部	
八重山高校女子フッ	勝ち進むと遠征回数が増え移動による疲労感が溜まる
トサル	